



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月10日

上場会社名 日本カーボン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5302 URL <https://www.carbon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 尚史
 問合せ先責任者 (役職名) 業務統括部長 (氏名) 藤川 浩史 TEL 03 (6891) 3730
 四半期報告書提出予定日 2021年5月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	6,077	△2.7	415	△63.0	368	△66.8	226	△53.3
2020年12月期第1四半期	6,249	△48.4	1,120	△78.0	1,108	△77.8	485	△85.1

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 559百万円 (—%) 2020年12月期第1四半期 △499百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	20.50	—
2020年12月期第1四半期	43.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第1四半期	70,172	50,317	61.9	3,936.19
2020年12月期	70,930	50,998	62.2	3,989.30

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 43,471百万円 2020年12月期 44,146百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	100.00	—	100.00	200.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	100.00	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	14,000	2.1	1,100	△51.1	1,200	△45.4	700	△40.4	63.26
通期	30,000	11.9	3,300	9.5	3,600	0.4	2,000	10.5	180.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規一社、除外一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 1 Q	11,832,504株	2020年12月期	11,832,504株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	788,455株	2020年12月期	766,371株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 1 Q	11,060,584株	2020年12月期 1 Q	11,062,904株

※ 四半期決算短信は監査法人による四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により鉱工業生産や個人消費が弱含むなど、昨年引き続き厳しい状況にありました。また、世界的な車載用半導体不足の影響により、自動車輸出が減少するなど、経済の回復にはなお時間を要する状況にありました。

世界経済は、新型コロナウイルス感染症の抑制状況や経済対策により回復の状況は異なり、米国では、経済対策により急速な回復がみられた一方、欧州では、新型コロナウイルス感染症再拡大により、回復の動向は限定的になりました。中国では、インフラ投資などを中心に回復の動きが見られました。

このような状況の中、当社グループの主要関連産業であります鉄鋼産業は、国内粗鋼生産が前年同四半期比でマイナスとなり、自動車生産が減少するなど、総じて厳しい状況にありました。他方、半導体関連産業は、半導体製造装置の販売面で急速な回復が見られました。

こうした事業環境の中、当社グループは、生産効率の向上と原価および環境負荷の低減を目的とした生産設備の拡充や、販売力を高めるための販売網強化を推進してまいりました。また、企業市民として、コンプライアンス体制の一層の強化・拡充と最良の製品を通して広く社会に貢献すべく品質管理の徹底を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高60億7千7百万円（前年同四半期比2.7%減）、営業利益4億1千5百万円（前年同四半期比63.0%減）、経常利益3億6千8百万円（前年同四半期比66.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億2千6百万円（前年同四半期比53.3%減）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(炭素製品関連)

電極部門は、昨年に引き続き需給は緩い状況にあり、国内・海外向けともに売上の下落傾向が続いていましたが、足元では在庫調整の進展による下げ止まり感が出てきています。

ファインカーボン部門は、半導体関連を除くその他産業向けで力強さを欠く結果となりましたが、半導体関連市場の需要が下支えとなりました。

リチウムイオン電池負極材は、車載向けの販売が回復傾向となり、堅調な売上が維持されました。

この結果、売上高は56億8百万円（前年同四半期比1.3%減）、セグメント利益（営業利益）は2億5千5百万円（前年同四半期比73.1%減）となりました。

(炭化けい素製品関連)

炭化けい素連続繊維の製造・販売については、航空産業の悪化が影響し、販売量の低迷が継続しました。

この結果、売上高は4億1千8百万円（前年同四半期比3.7%減）、セグメント利益（営業利益）は1億1千8百万円（前年同四半期比6.8%減）となりました。

(その他)

その他の事業は、産業用機械の製造・販売が減少した結果、売上高は5千万円（前年同四半期比61.8%減）、セグメント利益（営業利益）は3千7百万円（前年同四半期比2.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億5千7百万円減少し、701億7千2百万円となりました。

流動資産は、たな卸資産が4億6百万円、売上債権が2億9千5百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ8億8百万円減少し、422億2千万円となりました。

固定資産は、建設仮勘定が6億6千1百万円減少しましたが、機械及び装置が7億5千9百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ5千万円増加し、279億5千2百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ7千6百万円減少し、198億5千5百万円となりました。

流動負債は、賞与引当金が1億2千8百万円増加しましたが、仕入債務が2億2千7百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ7千9百万円減少し、155億1百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が5千2百万円減少しましたが、繰延税金負債が6千6百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2百万円増加し、43億5千3百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益を2億2千6百万円計上し、その他有価証券評価差額金が2億1千2百万円増加したものの、配当金の支払額が11億6百万円あったことにより、前連結会計年度末に比べ6億8千1百万円減少し、503億1千7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しております。そのため、現時点において2021年2月10日に発表いたしました2021年12月期の第2四半期連結累計期間および通期の業績予想は修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,600	14,835
受取手形及び売掛金	9,228	8,932
商品及び製品	9,366	9,014
仕掛品	4,524	4,742
原材料及び貯蔵品	3,469	3,196
未収還付法人税等	1,350	1,335
その他	509	184
貸倒引当金	△20	△21
流動資産合計	43,028	42,220
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,227	17,270
減価償却累計額及び減損損失累計額	△9,806	△9,931
建物及び構築物（純額）	7,420	7,338
機械及び装置	45,516	46,633
減価償却累計額及び減損損失累計額	△37,778	△38,135
機械及び装置（純額）	7,737	8,497
車両運搬具及び工具器具備品	3,293	3,316
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,810	△2,852
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	483	464
土地	3,524	3,533
建設仮勘定	968	307
有形固定資産合計	20,135	20,142
無形固定資産		
	198	208
投資その他の資産		
投資有価証券	5,026	4,978
繰延税金資産	334	341
その他	2,209	2,284
貸倒引当金	△2	△3
投資その他の資産合計	7,567	7,601
固定資産合計	27,902	27,952
資産合計	70,930	70,172

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,321	3,094
短期借入金	9,425	9,420
未払費用	587	556
未払法人税等	466	278
賞与引当金	146	274
役員賞与引当金	43	24
受注損失引当金	13	—
工場移転関連費用引当金	159	249
その他	1,418	1,602
流動負債合計	15,580	15,501
固定負債		
長期借入金	2,562	2,510
繰延税金負債	422	489
退職給付に係る負債	771	762
役員退職慰労引当金	52	48
役員株式給付引当金	70	71
環境対策引当金	28	28
資産除去債務	62	62
その他	380	380
固定負債合計	4,351	4,353
負債合計	19,931	19,855
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,402	7,402
資本剰余金	7,857	7,857
利益剰余金	29,287	28,407
自己株式	△1,913	△2,010
株主資本合計	42,634	41,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,542	1,755
為替換算調整勘定	53	139
退職給付に係る調整累計額	△84	△80
その他の包括利益累計額合計	1,511	1,813
非支配株主持分	6,852	6,846
純資産合計	50,998	50,317
負債純資産合計	70,930	70,172

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	6,249	6,077
売上原価	4,093	4,689
売上総利益	2,156	1,387
販売費及び一般管理費	1,035	972
営業利益	1,120	415
営業外収益		
受取賃貸料	6	7
受取保険金	63	-
その他	41	34
営業外収益合計	111	42
営業外費用		
支払利息	17	18
固定資産除却損	5	0
休止固定資産減価償却費	36	37
為替差損	16	0
持分法による投資損失	31	24
その他	16	6
営業外費用合計	123	89
経常利益	1,108	368
特別利益		
投資有価証券売却益	-	179
特別利益合計	-	179
特別損失		
火災損失	247	-
工場移転関連費用	-	90
特別損失合計	247	90
税金等調整前四半期純利益	861	457
法人税、住民税及び事業税	319	250
法人税等調整額	△17	△11
法人税等合計	302	239
四半期純利益	559	218
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	74	△8
親会社株主に帰属する四半期純利益	485	226

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
四半期純利益	559	218
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,036	220
為替換算調整勘定	△25	117
退職給付に係る調整額	3	3
その他の包括利益合計	△1,059	341
四半期包括利益	△499	559
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△555	597
非支配株主に係る四半期包括利益	56	△38

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役に対する株式給付信託 (BBT) 導入)

当社は、取締役等の中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託 (BBT)」を導入しております。

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成27年3月26日)に準じております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、取締役等に対して、当社が定める役員株式給付規定に従って、当社株式および当社株式を時価で換算した金額相当の金銭が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価格(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第1四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額は213百万円、株式数は609百株、当第1四半期連結会計期間の期中平均株式数は444百株となります。また、1株当たり情報の算定上、控除する自己株式に含めております。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループでは、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時に入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による当社グループの事業への影響につきましては、会計上の見積りに重大な影響を与えるものはないと判断しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,681	434	133	6,249	—	6,249
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	200	200	△200	—
計	5,681	434	333	6,450	△200	6,249
セグメント利益	951	126	38	1,116	3	1,120

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と同額であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,608	418	50	6,077	—	6,077
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	383	384	△384	—
計	5,608	418	434	6,461	△384	6,077
セグメント利益	255	118	37	411	3	415

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と同額であります。